



区市町村統計表

地域	面積 (km ²)	人口			65歳以上人口 の割合(%)	(参考) 世帯数	小学校 児童数	中学校 生徒数
		総数	男	女				
総数	2,194.07	13,951,636	6,858,557	7,093,079	22.59	7,120,532	614,873	300,377
区部	627.57	9,653,112	4,738,758	4,914,354	21.51	5,130,951	398,612	193,398
市部	783.95	4,217,151	2,078,374	2,138,777	24.81	1,954,366	212,300	105,027
郡部	375.86	56,387	28,202	28,185	32.96	22,223	2,776	1,383
島部	406.69	24,986	13,223	11,763	34.99	12,992	1,185	569
千代田区	11.66	65,891	33,244	32,647	17.27	37,570	4,851	5,971
中央区	10.21	167,794	80,157	87,637	15.11	92,596	7,118	1,887
港区	20.37	259,758	122,523	137,235	17.01	139,169	10,636	9,322
新宿区	18.22	349,688	175,203	174,485	19.52	217,980	10,226	6,190
文京区	11.29	235,836	113,643	122,193	19.40	130,225	11,796	8,061
台東区	10.11	209,244	107,485	101,759	23.10	122,234	6,896	2,886
墨田区	13.77	270,227	133,933	136,294	22.45	143,342	10,026	5,485
江東区	40.16	519,212	255,641	263,571	21.54	260,896	23,960	9,052
品川区	22.84	411,792	203,344	208,448	20.69	228,987	12,709	5,892
目黒区	14.67	287,695	136,024	151,671	19.70	153,034	10,674	3,951
大田区	60.83	739,575	368,632	370,943	22.70	393,580	30,027	11,442
世田谷区	58.05	939,099	444,214	494,885	20.16	489,972	41,730	20,147
渋谷区	15.11	234,661	112,800	121,861	18.83	142,611	8,701	4,756
中野区	15.59	342,296	172,560	169,736	20.49	209,584	10,678	5,817
杉並区	34.06	585,470	281,784	303,686	20.93	328,628	21,791	10,236
豊島区	13.01	301,185	150,880	150,305	19.86	185,806	9,791	6,927
北区	20.61	354,425	176,352	178,073	24.93	191,159	13,639	6,610
荒川区	10.16	218,775	107,741	111,034	23.24	109,887	8,886	4,128
板橋区	32.22	583,702	285,243	298,459	23.08	314,568	23,823	11,125
練馬区	48.08	742,652	358,801	383,851	21.78	360,790	33,987	15,091
足立区	53.25	683,365	341,355	342,010	24.82	334,603	31,506	13,784
葛飾区	34.80	454,973	227,076	227,897	24.52	216,745	20,617	8,960
江戸川区	49.90	695,797	350,123	345,674	21.03	326,985	34,544	15,678
八王子市	186.38	577,212	290,339	286,873	26.53	264,292	27,319	15,410
立川市	24.36	180,822	89,121	91,701	24.25	88,697	8,637	3,742
武蔵野市	10.98	148,350	71,019	77,331	22.13	76,624	7,561	4,129
三鷹市	16.42	192,518	93,284	99,234	21.76	94,278	9,357	4,109
青梅市	103.31	133,573	66,831	66,742	29.61	56,006	6,088	3,188
府中市	29.43	263,407	132,808	130,599	21.68	123,836	14,307	6,117
昭島市	17.34	112,055	55,502	56,553	25.88	50,096	5,805	2,669
調布市	21.58	239,824	116,450	123,374	21.40	117,918	11,971	5,649
町田市	71.55	434,170	212,374	221,796	26.66	194,479	23,103	12,661
小金井市	11.30	125,851	62,123	63,728	21.13	62,958	6,098	3,763

地 域	面 積 (km ²)	人 口			65歳以上人口 の割合 (%)	(参考) 世帯数	小学校 児童数	中学校 生徒数
		総 数	男	女				
小平市	20.51	196,435	96,632	99,803	22.98	87,869	10,576	4,795
日野市	27.55	190,006	94,876	95,130	24.70	89,228	9,326	4,218
東村山市	17.14	150,417	73,113	77,304	26.63	67,334	7,538	3,991
国分寺市	11.46	127,998	62,419	65,579	21.85	62,720	6,247	2,935
国立市	8.15	75,167	36,607	38,560	22.93	36,039	4,472	2,286
福生市	10.16	57,443	28,620	28,823	25.65	28,039	2,352	1,062
狛江市	6.39	83,826	40,737	43,089	23.99	42,102	3,518	1,286
東大和市	13.42	84,247	41,218	43,029	26.72	36,710	4,503	2,053
清瀬市	10.23	75,168	36,046	39,122	27.92	33,782	3,816	1,936
東久留米市	12.88	116,446	56,344	60,102	28.13	51,819	5,725	2,743
武蔵村山市	15.32	71,544	35,654	35,890	25.96	29,734	4,202	2,143
多摩市	21.01	147,790	72,184	75,606	28.13	68,726	7,293	3,772
稲城市	17.97	91,850	46,016	45,834	21.14	39,456	5,395	2,375
羽村市	9.90	54,709	27,825	26,884	25.66	23,887	2,909	1,363
あきる野市	73.47	80,055	39,733	40,322	29.36	32,159	4,337	2,410
西東京市	15.75	206,268	100,499	105,769	23.81	95,578	9,845	4,222
瑞穂町	16.85	32,394	16,438	15,956	27.99	13,534	1,538	835
日の出町	28.07	17,140	8,372	8,768	35.50	5,900	1,041	451
檜原村	105.41	1,990	959	1,031	50.56	815	53	21
奥多摩町	225.53	4,863	2,433	2,430	49.06	1,974	144	76
大島町	90.76	7,244	3,742	3,502	37.40	3,717	323	147
利島村	4.12	344	203	141	24.15	198	21	15
新島村	27.54	2,594	1,288	1,306	39.60	1,273	115	62
神津島村	18.58	1,870	964	906	29.98	831	112	55
三宅村	55.26	2,270	1,268	1,002	39.10	1,352	79	31
御蔵島村	20.54	337	182	155	18.61	195	23	5
八丈町	72.23	7,096	3,570	3,526	39.05	3,752	309	181
青ヶ島村	5.96	176	108	68	18.24	127	5	5
小笠原村	106.88	3,055	1,898	1,157	15.62	1,547	198	68

人口・世帯数は、平成27年10月1日現在の国勢調査人口(確報値)を基準とし、これに毎月の住民基本台帳人口等の増減数を加えて推計した。

なお、世帯数については、国勢調査と住民基本台帳上との世帯の定義に若干の相違があるので、参考として掲げた。

注) 面積は、総務局行政部長通知「東京都区市町村別の面積について」による令和元年10月1日現在の数値である。
 なお、区部には、荒川河口部(1.12km²)、中央防波堤埋立地(7.48km²)を含み、島部には、鳥島(4.79km²)、ペヨネース列岩(0.00km²)、須美寿島(0.02km²)、嬬婦岩(0.00km²)を含む。

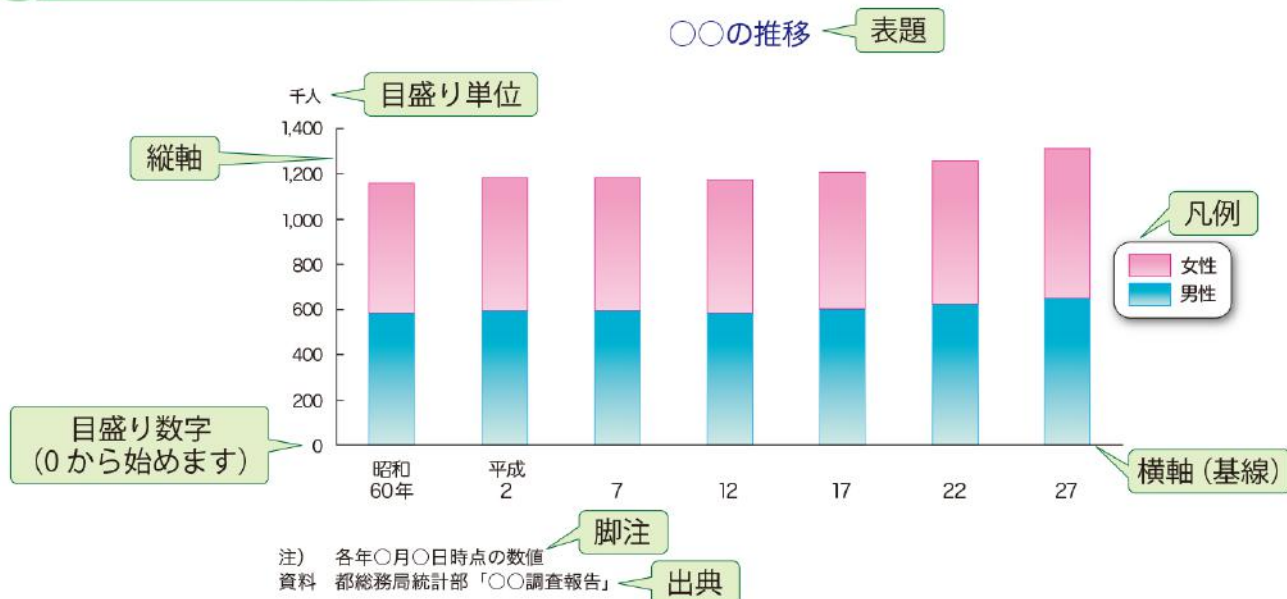
資料 都総務局統計部「東京都の人口(推計)」(令和2年1月1日現在)

// 「住民基本台帳による東京都の世帯と人口(町丁別・年齢別)」(平成31年1月1日現在)

// 「令和元年度 学校基本統計(学校基本調査報告書)」



1 グラフの基本構造



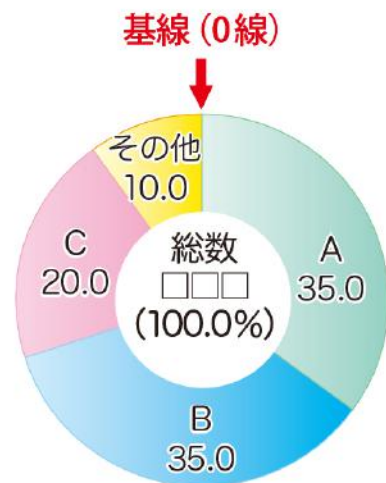
2 グラフの見方

(1) 項目の並び順

- ①項目に並べる決まりや慣例がある場合は、それに従って並べています。
 - ア. 産業では、農業、林業、漁業、鉱業、… (日本標準産業分類) の順に並べます。
 - イ. 都道府県では、北から南に向けて、北海道、青森県、岩手県、…の順に並べ、東京都は13番目になります。
- ②特に決まりや慣例を必要としない場合は、大きいものから小さいものに並べ、「その他」を最後に設定します。また、古い年次から新しい年次へと並べます。

(2) 総数に対する内訳(構成比率)を表す場合

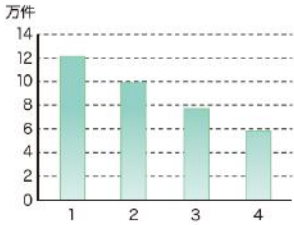

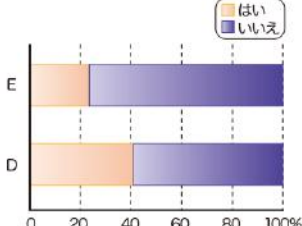
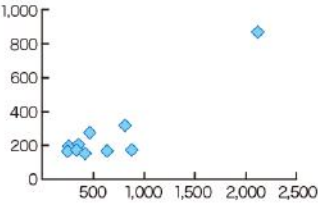
円グラフで円全体を100%として、いくつか分割し、それぞれの内訳面積の大小によって数値を表します。実数を記載する場合は、ドーナツグラフにし、内円に記載します。ドーナツグラフは内円に「%」を表示するので、外円には「%」を表示しません。



(3) 数値の差が少ないか、又は差が非常に大きい場合

グラフの目的に応じて省略記号(波線等)を挟み、差を強調しています。波線を用いて省略した部分が多いほど、実態とかけ離れたグラフになっているため、読みとる際には注意が必要です。

3 グラフの種類

種類	特徴
① 単純比較グラフ (単位グラフ・面積グラフ・ 体積グラフ・棒グラフなど) 	2つ以上の数量間の差や比、大小の順序などを比較・観察するときに適しています。
② 線グラフ (折れ線グラフ・レーダーチャート など) 	数量の時系列 ^{注)} 変化を観察するときに適しています。
③ 百分比グラフ (円グラフ・帯グラフなど) 	構成比率の観察に適しています。
④ その他 (相関グラフ・度数分布グラフなど) 	2種類のデータの関係やデータの散らばり具合を見るのに適しています。

注) 時系列とは、時間の経過に沿って並べることです。

利用上の注意

(1) グラフで用いているデータ

特に明記がない場合は、東京都の数値です。

(2) 総数を見る際の注意

- ・ 構成比を表す円グラフや積み上げ棒グラフの内訳は、小数点第1位まで表示してあります。そのため、端数処理の関係で、内訳の和が100%にならない場合があります。
- ・ 数字の単位未満は、四捨五入することを原則としています。したがって、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合があります。



世帯に対して実施している調査

国勢調査

日本に住んでいる全ての人及び世帯を対象とする最も重要な統計調査で、5年ごとに実施しています。



労働力調査

完全失業率や就業者数などを明らかにするために、無作為に抽出された世帯（約4,200世帯）の15歳以上の人を対象に、就業及び不就業の状態を毎月調査しています。調査結果は雇用対策や景気判断などの基礎資料として広く利用されています。

家計調査

人々の暮らしを家計の収支から明らかにするために、無作為に抽出された世帯の家計の収支・貯蓄・負債などを毎月調査しています。調査結果は経済政策、社会政策などの基礎資料として広く利用されています。

全国家計構造調査

家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにするために、5年ごとに調査しています。調査結果は、介護・年金等社会保障政策の検討などの基礎資料として広く利用されています。

東京都生計分析調査

都民の消費生活の実態を把握するために、無作為に抽出された世帯の家計の収支を毎月調査しています。調査結果は「都民のくらしむき」として公表し、都政の基礎資料として広く利用されています。

事業所・企業・学校などに対して実施している調査

経済センサス

日本の産業の実態を明らかにするために、全てのお店や工場、会社などを対象に、従業者数や売上高などを調査しています。基礎調査と活動調査があります。

農林業センサス

農林業を営んでいる個人、組織、法人、農山村地域などを対象に、5年ごとに調査しています。農林業の生産や就業の構造及び農山村地域の状況が分かります。



漁業センサス

水産業を営んでいる世帯や会社などを対象に、5年ごとに調査しています。漁業・水産加工業の生産高や従事者数など、水産業の状況が分かります。

工業統計調査

工業の実態を明らかにするために、製造事業所の数や従業者数、製造品出荷額等を毎年（経済センサス-活動調査実施の年を除く。）調査しています。

毎月勤労統計調査

賃金、雇用、労働時間の毎月の変動を明らかにするために、抽出された事業所の賃金や労働時間等を毎月調査しています。

経済産業省生産動態統計調査

鉱工業製品を生産している事業所を対象に、毎月調査しています。生産品目ごとに生産・出荷・在庫の数量や金額等の動向が分かります。

商業動態統計調査

商業を営む事業所及び企業の、商品販売額や従業者数などを毎月調査しています。販売活動の動向が分かります。

小売物価統計調査

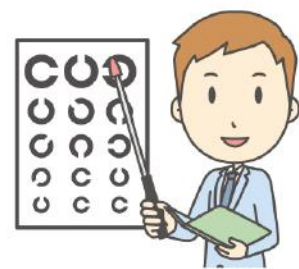
消費生活上重要な商品の小売価格、サービス料金及び家賃を毎月調査して、消費者物価指数その他の物価に関する基礎資料を得ることを目的として行っています。

学校基本調査

すべての学校を対象に、生徒や教職員の人数、学級数、卒業後の進路など、学校に関する基本的な事項を調査しています。

学校保健統計調査

幼稚園、幼保連携こども園、小・中・高等学校・義務教育学校及び中等教育学校の中から抽出された学校で、発育状態（身長、体重）と健康状態（視力や虫歯など）を調査しています。



統計調査員は「顔写真付き統計調査員証」を携帯しています。



調査は「統計法」「東京都統計調査条例」に基づいて実施されていますので、調査員や調査関係者が職務上知りえた情報を他に漏らすことは、法律や条例で固く禁じられ、秘密の保護には万全を期しています。これらの調査は東京都・区市町村を通じて実施されますので、調査員が伺いましたらご回答をよろしくお願ひします。



総務省統計局の
イメージキャラクター

総務省統計局では、

**令和2年10月1日に
5年に一度の国勢調査**
を行います。

国勢調査とは？

国勢調査は、**日本国内に住むすべての人と世帯を対象**とし、日本国内の人口や世帯の実態を明らかにすることを目的としています。



2020年で **開始から100年、**

未来をつくる **日本で最も重要な統計調査**です。

調査の概要

調査期日：令和2年10月1日 午前零時現在

調査対象：日本国内に住むすべての人と世帯 ※外国人を含む

調査事項：＜世帯員について＞

男女の別、出生の年月、配偶者の有無、就業状態、従業地又は通学地など
15項目

＜世帯について＞

世帯員の数、住居の種類など4項目

調査に回答する方法

- **パソコン・スマートフォン**から回答
- 回答済みの調査票を、調査員に提出
- 区市町村により、回答済みの調査票の**郵送提出**も可能

以上の方法から選択し、回答することができます。

24時間いつでもカンタン、便利な
**インターネット回答を
おすすめしています♪**



総務省統計局の
イメージキャラクター

調査結果の活用事例

- **各種法令に基づく利用**
衆議院議員選挙区の改定、地方交付税の算定のための基礎資料
- **行政上の施策への利用**
少子・高齢化対策や防災計画の策定、年金・医療費算定のための基礎資料
- **GDPなどを計算する国民経済計算の推計への利用**
- **大規模地震発生に伴う被害予測など地方公共団体における利用**
- **学術研究・企業等での利用**
将来人口・世帯数の推計、都市再生プロジェクト推進事業のための基礎資料等、国や地方公共団体の行政施策のほか、民間企業等でも様々な場面で利用されています。

詳しくは、総務省統計局の

国勢調査キャンペーンサイトをご覧ください。

国勢調査 2020 キャンペーンサイト

検索



<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020campaign/>